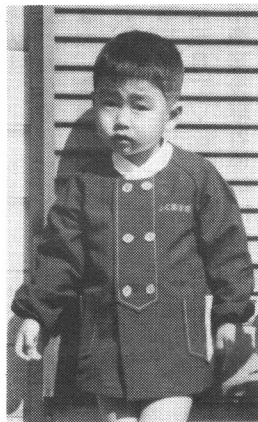




発行所
財団法人 漁船海難遺児育英会
〒101 東京都千代田区内神田
2丁目2番1号
鎌倉河岸ビル6階
電話 03(3256)1981
FAX 03(3256)1982

お父さん！大樹もこんなに 大きくなりましたよ

橋口あや子



この春、わが家の長男も保育園に入園しました。
近所に同じ年頃のお子さんもおらず、一人っ子のため、これまで私とばかり遊んでおりましたが、保育園に入園してからは友達もでき、多勢で遊ぶ楽しさを知ったせいでしょうか、通園する事が楽しくいらしく毎日元氣よく通っております。

昭和六十二年十一月一交替要員の乗組員三十八人の一人として勤務地（事業基地）の南アフリカ共和国、ケープタウンに赴任途中、モーリシャス沖合

の洋上で、一瞬の内に散ってしまった主人は、その父と親子二代の海の災禍を受けたことになりました。
家を出るとき、生後五〇日余の長男を抱きあげ、別れを惜しむ情まる出しに、幾度も幾度も頼りずして『行つて



長生も
お父さんの
有難や

片桐榮七会長（写真）と直筆の色紙

去る六月十八日、東京築地の中央魚類株式会社・片桐榮七会長から、同氏の米寿を記念して本会鈴木善幸理事長に御寄付を手渡されました。

その際、片桐会長直筆による、頭書の達筆で、あじわいのある句の色紙を寄せられました。

平成二年度・事業報告

平成二年度は、本会設立二〇周年記念事業を実施、新たに大学等在学生に対する奨学金貸与事業を開始しました。また、「第六期育英資金募金運動

要をお知らせするとともに、皆様方の御支援・御協力に對しまして、厚くお礼申し上げます。

◎事業状況

一、学資給与事業Ⅱ幼児から中学生までの奨学生八七四名に、入学祝い金を含めて七、四八七万円を給与しました。

くるよー待っててね』の声を残して旅立ったのでしたが、二十八歳の父と生後間もない未だ肉親の情が通ずるはずもない子との、もどかしい別れ（永遠）の情景が、いまでも生々しく鮮明に私の記憶の中にあります。

今年で満四歳になった長男も、父の死についてはまだ理解できず、写真や仏壇に向かって話しかけているのを見ると、父親の感懐というものを知らずに育つのかと、改めてかわいそうに思えてきます。

しかし、この四年間親子ともに、あまり寂しさを感じずに暮らしてこれたのも、家族や友人、周囲の方々に助けられ、励まされてきたからだと思っております。

またこの度、奨学生として、育英会から御援助をいただくことになりました。心から感謝いたしております。

これからは、子供の成長を楽しみに皆さまからの温かい励ましを支えに頑張つて参りたいと思っております。

（下 88 鹿児島県枕崎市枕崎一六八〇）

奨学生一〇〇人を採用

平成三年度

第一回選考委員会を開催

本年度第一回奨学生願書の受付は五月十五日に締切り、選考委員会を二十一日に開催いたしました。審議の結果、本年度第一回新規奨学生として一〇〇人の採用を決定しました。現在の奨学生数は裏面の「都道府県別奨学生数」のとおり、一、〇〇二人となります。

この委員会において、事故後幾年も経過した出願者のあること等が指摘され、出願の遅延・漏れのないように、関係者に対する育英制度の周知徹底と事故の早期把握の方法について、今後の課題として検討されることになりました。

なお、平成四年度に高校又は大学等に進学を予定される方に、早期に進路を決定し、安心して進学準備ができるよう、事務局では予約採用制度の導入等について現在検討中です。準備ができ次第、県漁連、漁協及び中学三年、高校三年に在学中の奨学生に関係資料をお送りします。

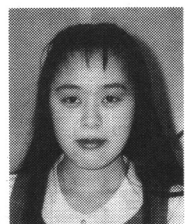
近況・短信

◎ 恵一（小六）は町の子ども会ソフトボール大会で、準優勝しました。昨年は優勝したのですが、修学旅行は広島市に行きました。とても楽しかったそう、もう一度行ってみたいとの事です。中学三年の真一は高校入試に向けて今から頑張っています。

◎ 小学校六年の千恵は、ソロバンが好きで、いま三段ですが、日商の検定はなかなか上級に進めません。どちらか高い段位を取りたいとがんばっています。

◎ 早速ご送金下さいまして有難うございました。今回から奨学金を二、〇〇円も上げていただき感謝いたしております。大切にに使わせていただきます。

ごあいさつ



桜田めぐみ



福留恭子

この度、四月一日付で採用となった桜田と申します。育英会に来て早や四カ月目に入ろうとしています。私にとって漁業関係は今まで全く無縁のことでしたので、何もかもが新しい事ばかりで学ばなければいけない事が沢山あります。

今年の四月一日より「育英会」の職員になりました。福留恭子です。
私は東京に生まれ育ち、海から離れた所に住んでいましたので、今まで漁業とはほとんど関係することなく過ごしてきました。自分が普段食べている

「サンケイ福祉の船」

本年度は岩手県で

夏休みに三泊四日の旅を交通遺児たちにはプレゼントする「サンケイ福祉の船」に、産経新聞東京本社の御厚意により前年度に引き続き本会奨学生も招待されることになりました。

参加対象は、関東一都六県、青森・秋田県を除く東北六県及び静岡・新潟県に在住する小学校五、六年生の交通遺児と本会奨学生合わせて百名ですが、本会奨学生の希望者は学校の部活などと重なり予定を下回る七名でした。

本年度は、七月二十八日～三十一日に岩手県で開催されますが、コースはます。主人は一昨年十月に亡くなりましたが、子ども達（小三と新入園児）も新しい環境に少しずつ慣れてきて元気な毎日を送っております。皆様のご健康をお祈りします。

（札幌市南区・大坂明美）

チャリティー絵画展

「新井理夫油絵墨彩0展」開催

群馬県桐生市の新井理夫氏には、七月二十五日から三十日、長崎屋桐生店三階において、「第二回漁船海難遺児を励ますチャリティー」として個展を開催されます。

本育英事業に深い理解をもたれていらっしゃる同氏には、昭和六十年にも同様の個展を開催し、御協力をいただいております。機会がありましたら、ぜひお立ち寄り下さい。

しかし時折、育英会に寄せられるお手紙の中には、奨学生の皆さんの近況報告が書かれており、毎日勉強や部活に励んでいるとの明るい内容を読むと私も安心いたします。これから育英会を通し貢献できればと思っております。第です。よろしくお祈りいたします。

一の関から、げいび溪、小岩井農場、竜泉洞、陸中海岸の北山崎、盛岡、その間に飯合炊はん、打ち上げ花火大会、海猫の餌づけ、キャンプファイヤー等盛り沢山のスケジュールとなっております。

参加される方は、健康に留意し、楽しい夏休みの思い出と多くの友だちをつくってきてください。

